

〈大阪支部〉
大阪府下の大学コンソーシアム
について
—— 特色ある事業活動の紹介 ——

大学の共同事業体（コンソーシアム）が全国には現在三八団体あり、主な事業としては、単位互換、高大連携、インターンシップ、産学官連携、地域連携教育が挙げられる。大阪府下には、大学コンソーシアム大阪（加盟大学数四八校）と南大阪地域大学コンソーシアム（加盟大学、短期大学数二三校、個人会員二名）があり、それぞれの特徴ある事業活動を紹介する。

一つは、大学コンソーシアム大阪が取り組む「学校インターンシップ」事業（図1）。これは教育免許法による教育実習とは異なり、大学生が広く社会経験を積むために、ある期間、幼稚園、小・中・高等学校、養護教育諸学校などの教育現場に入り、教科指導以外の学校現場における諸事務・行事・課外活動・授業補助などの実務経験を行うものである。

同コンソーシアムでは大阪府、大阪市教育委員会等の協

力を得て、平成一六年四月に「学校インターンシップ推進委員会」を設けて積極的な取組を始めている。先行して実施している六大学に加え、平成一七年度には新たに一大学が学校インターンシップを開始する。

同委員会では、今後、マッチングや派遣にかかる問題点を各大学・教育委員会双方に提起し改善を図り、仲介役としての役割を果たしていく予定である（大学コンソーシアム大阪では「学校インターンシップ」事業としているが、大阪市教育委員会等では「学校支援学生ボランティア事業」としている）。

もう一つは、南大阪地域大学コンソーシアムが実施する「学生クラブ・アクト」（図2）である。企業、地域、学校、行政などから事業委託を受けて学生が主体となり、場合によっては教員のサポートを受けながら、学生の意欲や知識を社会に役立てることとともに学生の社会体験の場を提供するものである。

例えば堺商工会議所から委託された学生クラブ・アクトでは、空き店舗を活用して商業活性化、創業支援、集客をテーマに堺東駅前店舗の利用の仕方や街づくりのための企画等の提案を行っており、他にも「堺市リサイクルの活動拠点づくりのためのスキームづくり」等平成一六年度は合計二一の受託業務を行っている。

図1 「大学コンソーシアム大阪」における「学校インターンシップ」事業「学校支援学生ボランティア事業（教育委員会）」実施の流れ

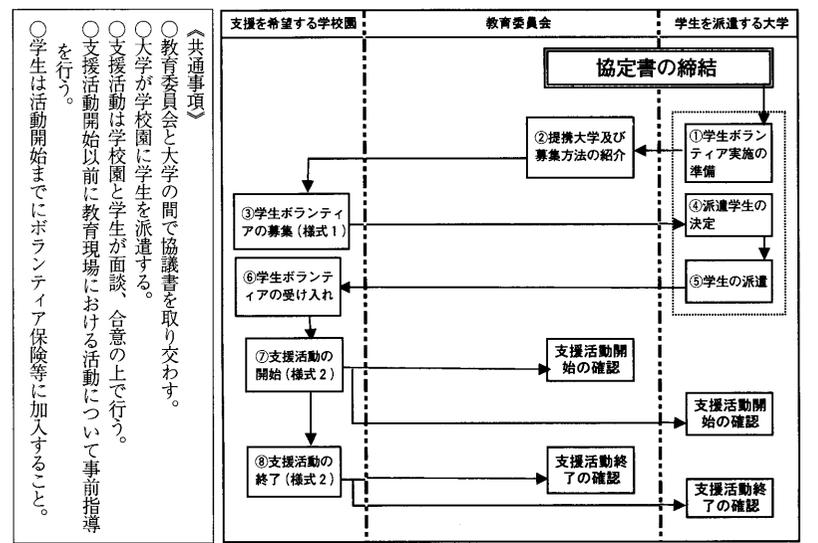
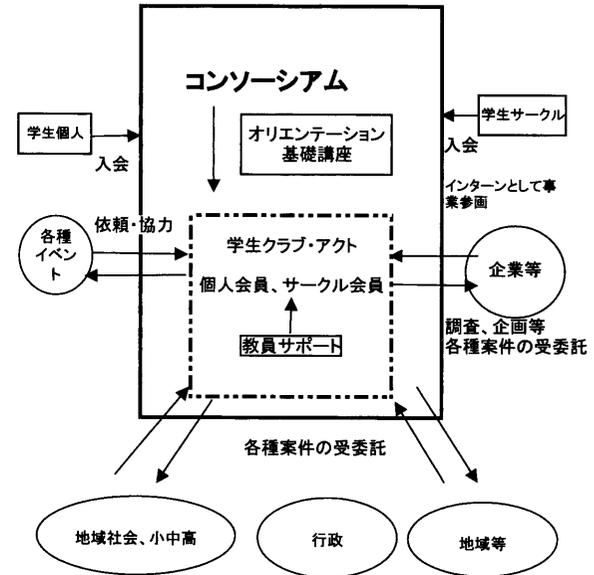


図2 「学生クラブ・アクト」実践スキーム



また、今春には堺商工会議所などが経済情報を提供して学生が取材活動を行うウェブ新聞「サカイ経済新聞」を創刊して大阪南部の地域情報サイトを開設する。このように大阪の二つのコンソーシアムでは学生支援事業を行っている。